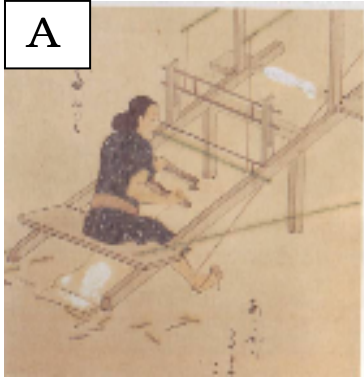


室町時代の産業は、資料をフルに活用する

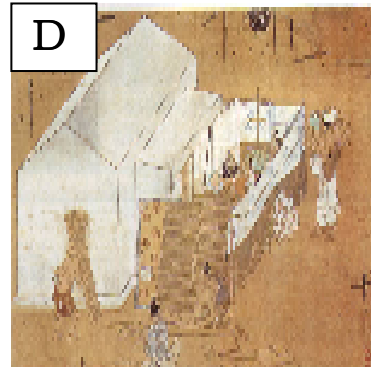
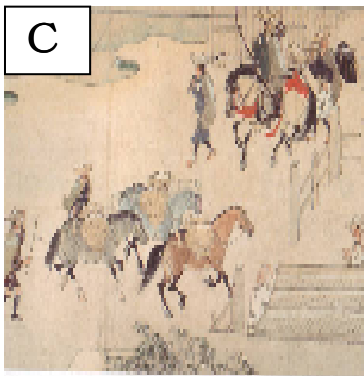
TOSS 長崎 中学・にしそのぎサークル 森 雄輔

室町時代の産業の学習では、資料をフルに活用する。都市部で発達した商工業にかかわるものと、農村にかかわるものに分けて行う。



発問：A、Bの絵は、それぞれ何をしているのでしょうか。予想してごらんください。
正解はA…機織り、B…刀をつくっている（刀鍛冶）である。

説明：室町時代になると、絹織物や刀、農具などをつくる人たちがたくさん登場しました。
今でも京都の「西陣」や福岡の「博多」などでは、織物がさかんです。



発問：C、Dの絵は、それぞれ何をしているのでしょうか。予想してごらんください。
正解はC…馬借（馬を使って荷物を運んでいる）、D…土倉（金融業を営んでいる）である。
少々難しいので、必要に応じてヒントを出す。また、馬借や土倉が、現在のどのような仕事にあたるのかを確認する。

指示：土倉や、同じ仕事をしていた「酒屋」などは、営業の独占を認めってもらうために、あるグループを作りました。何というグループでしょうか。教科書から、漢字1文字で探します。

「座」

説明：こうして、さまざまな仕事をする人が登場し、発展していきました。

E



指示：Eの絵を見て、わかったこと、気づいたこと、思ったことを、できるだけたくさんノートに書きます。

「田植えをしている人がいる」「踊りを踊っている人がいる」「かぶっている帽子が違う」など

発問：田植えをしているのは、何を作るためですか。

「米」

発問：踊っているのは、なぜでしょうか。予想してごらんください。

「豊作を祈る」「田植えをしている人を励ます」など

指示：室町時代、農民は米を自分の土地の領主におさめていました。領主におさめる米のことを、漢字2文字で何といいますか。教科書から探してください。

「年貢」

指示：農民は、ときには、この「年貢」を減らしてもらうために、領主にたてつくことがありました。こうした行動を、漢字3文字で何といいますか。教科書から探してください。

「土一揆」

その後、土一揆の例として「正長の土一揆」が起こったこと、そして、農村では「惣」という自治組織がつくられていたことを確認して終わる。